

# べっふ市議会だより



No.159  
2022.2.1

©Team Beppyon

“市民生活の経済支援と消費喚起による市内商業の活性化を図る”

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑
- P 5~11 常任委員会審査・一般質問（15名が市政を問う）
- P12 別府溝部学園短期大学との連携協定締結・編集後記 ほか





# 令和3年第4回定例会で28の議案を可決!

11月29日から12月13日までの15日間にわたり開催された今定例会では、予算関係5件、条例関係8件、その他12件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、予算関係1件、さらに議会より、議員提出議案1件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、別府市国際交流会館の売払収入等を公共施設再編整備基金に積み立てることに伴う基

金積立金の追加額についての説明に加え、別府スペースバレーの実現に向けた調査費等について説明があり「国際交流に要する経費の追加額」「別府スペースバレーに要する経費」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、1件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示がありましたが、いずれも賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第8号)12月定例会

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

**建物売払収入** . . . . . **1億1,692万円**

別府市国際交流会館の売却に伴う建物売払収入を計上します。

**国際交流に要する経費** . . . . . **1,772万円**

売却に伴い、建設ときに(財)日本国際教育協会(現:日本学生支援機構)から交付を受けた建設奨励金の一部を返還します。

**基金積立金** . . . . . **9,919万円**

国際交流会館の売却に伴う基金積立金を追加します。

**要保護児童対策に要する経費** . . . . . **200万円**

児童虐待の早期発見・早期対応を推進するため、子どもの見守り体制の強化を図ります。

**新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費** . . . . . **2億5,105万円**

12月から新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を開始することに伴い計上します。

**別府スペースバレーに要する経費** . . . . . **376万円**

小型人工衛星の打ち上げ拠点「宇宙港」に選定された大分空港で、打ち上げに向けた動きが本格化していることに伴い、宇宙産業の将来的な発展を見込み、本市における宇宙関連ビジネス創出の可能性を調査します。

### ●条例の制定及び一部改正

#### 別府市手数料条例及び別府市印鑑条例の一部改正について

個人番号カードを利用した印鑑登録証明書のコンビニ交付を定めること及び印鑑登録証明書等のコンビニ交付に係る手数料を定めることに伴い、条例を改正しようとするものです。

#### 別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例及び議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部改正について

別府市営体育施設としてウエイトリフティング場を設置することに伴い、条例を改正しようとするものです。

## 第4回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議第87号	令和3年度別府市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全会一致)	議第102号	指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)	
議第88号	令和3年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第103号	指定管理者の指定について		
議第89号	令和3年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第2号)		議第104号	指定管理者の指定について		
議第90号	令和3年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)		議第105号	指定管理者の指定について		
議第91号	令和3年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第106号	指定管理者の指定について		
議第92号	別府市手数料条例の一部改正について		議第107号	指定管理者の指定について		
議第93号	別府市手数料条例及び別府市印鑑条例の一部改正について		議第108号	指定管理者の指定について		
議第94号	別府市国際交流会館の設置及び管理に関する条例の廃止について		議第109号	指定管理者の指定について		
議第95号	別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例及び議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部改正について		議第110号	事務の委託の協議について		原案可決 (賛成多数)
議第96号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		議第111号	市長専決処分について		承認 (全会一致)
議第97号	別府市国民健康保険条例の一部改正について		議第112号	令和3年度別府市一般会計補正予算(第9号)		原案可決 (全会一致)
議第98号	別府市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について		報告第13号	市長専決処分について		報告
議第99号	別府市道路路占用料徴収条例等の一部改正について		議員提出議案第11号	大分県主要農産物等種子条例制定を求める意見書		原案可決 (全会一致)
議第100号	建物の売払いについて			議員派遣		
議第101号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて					

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																					
			自民党議員団 10人							公明党 4人		自民新政会 3人			市民クラブ 3人			日本共産党議員団 2人		革労連 1人				
			首藤正	野口哲	松川生	黒木愛一郎	松川章三	安部一裕	手束貴真	阿部敦一	日名子貢	榎田博行	堀本隆生	市原金卓	荒井宏二	穴井大輔	山本一	森野正明	小野正	加藤信康	森山治	三重忠昭	平野文活	美馬恭子
議第110号	事務の委託の協議について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和3年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 「新型コロナウイルスワクチンの3回目接種」について

**問** 補正予算の内容を見ると、2億5,100万円の予算額のうち、その大部分が委託料となっている。どのように接種を進める予定か。

**答** 委託料の内訳は、予防接種委託料と接種体制確保事業委託料の2つに分かれ、予防接種委託料は5,730万円、接種体制確保事業委託料が1億7,623万5千円となっています。

予防接種委託料については、新型コロナウイルスワクチン接種に要する費用として、国から示された算定式を元に定めた基準により算出した額となっています。

接種体制確保事業委託料については、コールセンターの設置や接種予約システムの構築運用、集団接種会場の運営や医療従事者の派遣等の業務についての委託料となっています。

接種場所は1回目、2回目と同様に、市内医療機関の個別接種会場とべっぴアリーナの集団接種会場を予定しています。本年3月、4月に2回目接種を終えた方に対して11月30日に接種券の発送を行っており、12月10日より接種が開始される予定です。対象者は医療従事者の方々です。以降、5月に2回目接種を行った方は1月までに、6月に終了の方は2月までに接種券を発送します。以降も順次月単位で接種券の発送を行います。

**問** 接種の予約方法などの変更はないのか。

**答** 65歳以上の方に関しては予約の方法を変更します。本年8月までに2回目の接種を終えた65歳以上の方については、あらかじめ市で接種会場と接種日時を設定して接種券をお送りします。接種会場は2回目の接種を行った会場を基本に設定します。案内した会場、日時でよろしければ接種券に同封しているはがきに氏名、住所等を記入して返送いただくと予約が正式に完了となります。別の会場や日時を希望される場合は、コールセンターかインターネットで予約を変更していただきます。3回目の接種を希望されない方は何もしていただく必要はありません。

64歳以下の方については、前回と同様、インターネット予約かコールセンターでの電話予約となります。

## 「別府市手数料条例及び別府市印鑑条例の一部改正」について

**問** マイナンバーカードを取得すれば、コンビニで各種証明書の交付を受けられ、しかも市役所や出張所で交付を受けるより手数料が安くなる。各種証明書とはどんなものか。

**答** 市民課関係では、住民票、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍の全部事項証明書、個人事項証明書及び戸籍の附票となっています。

市民税課関係では、所得証明書、課税・非課税証明書となっています。

**問** 手数料はどれだけ安くなるのか。

**答** 住民票、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍の附票、所得証明書及び課税・非課税証明書については、現行の300円から150円へ改正いたします。戸籍の全部事項証明書及び個人事項証明書については、現行の450円から300円へ改正いたします。

**問** コンビニへの支払いはどうなるのか。

**答** コンビニ交付を行っている各市区町村は、契約先である「J-LIS：地方公共団体情報システム機構」へ交付枚数に応じ手数料を支払うこととなります。

なお、手数料は令和3年10月現在、1通につき117円となっております。

**問** 市役所としては出血サービスだが、そこまでやる目的は。

**答** 目的としましては、第1に住民サービスの向上であります。コンビニでの交付手数料を低額にし、夜間や土日祝日でも利用可能なコンビニでの交付を活用していただくこと、そして、窓口での密を避け、新型コロナウイルスへの感染を予防すること、さらに、国の進めるデジタル・ガバメントの推進にありますマイナンバーカードの普及や利活用を促進していくことと考えています。

# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

各常任委員会に付託された全ての議案について、賛成多数で原案のとおり可決(承認)すべきものと決定しました。

## ● 総務企画消防委員会

「議第110号 事務の委託の協議について」では、令和6年度より本市の消防指令業務に係る事務を大分市に委託しようとする事に対し、委員から、市民による通報の方法に変更はあるのかとの質疑があり、当局から、市民にとって変更点はなく、これまでどおり119番通報をすることで、共同指令センターに繋がり、そこから本市の消防署に対し出動指令が出される旨の答弁がありました。これに対し、別の委員から、市民の生命と財産を守るため、万全の体制で臨むよう要望がありました。



## ● 観光建設水道委員会

「議第87号 令和3年度 別府市一般会計補正予算(第8号)」関係部分では、宇宙関連ビジネス創出の可能性を調査するため委託料等を計上するとの説明がありました。委員から、調査目的について質疑があり、当局から民間の事業者へ調査結果を情報提供し、宇宙に関する新たな事業の創出等を検討してもらうためであるとの答弁がありました。「議第111号 市長専決処分について」では、べっぴん帰ってきたエール券発行のための専決処分であるとの説明がありました。委員より、エール券は消費を喚起する一つの方法だが、税の負担と受益の公平性の観点から別の方法も研究するよう提言がありました。

## ● 厚生環境教育委員会

「指定管理者の指定について」では、体育館やグラウンドなど7件の施設において、管理者の指定に当たり議会の議決を求めるものであるとの説明がなされ、委員からグラウンドや競技場における市民利用の向上や芝生の整備について質疑があり、当局からトップチームのキャンプ誘致には、引き続き質の高い芝生の環境が必要ではあるが、スポーツツーリズム推進のため広く市民が利用できるように指定管理者と協議するとの答弁がありました。

# QA 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月議会では15名の議員が市当局の見解をたどりました。主な内容は次のとおりです。

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます

日本共産党議員団

みま きょうこ  
美馬 恭子 議員



## 「学校共同給食調理場」について

**問**▶ 新共同調理場の運営については「別府市学校給食施設のあり方検討委員会」の意見書に基づき効率的で安定した運営方法を検討するとされてきたが、その進捗状況について尋ねたい。

**答**▶ 調理と配送は、民間が蓄積するノウハウを活用するために市が責任主体となって民間委託する方向で検討を進めています。献立作成や食材の発注は市が責任をもって直接行っていきます。また、食物アレルギー対応に関しては、新

センターとは別の場所で直営の方法で検討を進めています。年内に公立幼稚園と小中学校の保護者を対象にした説明会を開催します。

**問**▶ 新共同調理場の柱に食物アレルギー対応を掲げ、新センター内に専用調理場を整備するという方針であったと認識していたが、食物アレルギー対応は新センターとは別の場所で、市が直営ということか。それはどのような理由からか。

**答**▶ アレルギー対応は命にかかわる重要な案件であり、子どもや保護者の安心安全のため、引き続き直営で行う方向で検討を進めています。このことに関しても12月の保護者説明会で丁寧に説明していき理解を求めています。

**問**▶ 日本一美味しい給食という目標を掲げているが、何をもって日本一と評価していくのか。

**答**▶ 全国でも事例の少ない8,500食、3献立、手



作り給食という本市独自の取り組みを実施していきます。手作り準備室を整備し、手作り給食を家庭の料理に近い工程で作ります。別府市産の食材を活用し、子どもたちの笑顔に結びつけることが評価の一つになると考えています。

公明党  
あな い こう じ  
穴井 宏二 議員



## 「困窮学生への10万円の給付」について

**問**▶ 国の補正予算「学生等の学びを継続するための緊急給付金」の支援制度が、必要とする困窮学生に行き渡るよう市はどのような周知に取り組んでいくのか。

**答**▶ 新型コロナウイルス感染症の影響による世帯収入やアルバイト収入の減少などで、学びの継続に支障をきたす状況を踏まえ、令和2年度に学生支援緊急給付金が給付されましたが、今回の国の補正予算におきましても引き続き非課税世帯の学生などが大学に申請し、日本学生支援機構を通じて10万円が給付されるものです。この制度の周知のため、補正予算案の公表後、直ちに各大学へお知らせし、対象となる学生へ申請を促すとともに、今後支援が必要な学生に行き渡るように各大学と連携し、周知をしていきたいと考えています。

**問**▶ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け多くの学生が長期にわたり厳しい状況にあることが懸念されるが、そのような学生の状況を把握しているのか。また、南房総市では、市独自の支援として大学1年生には5万円、2年生以上には10万円の給付をしているが、市独自の対策は考えられないか。

**答**▶ 市内3大学の調査では、低所得者向け修学支援制度を利用している学生は3大学で583人、在籍学生数の7パーセントとなっており、厳しい状況であります。市独自の支援については、今回の国の補正予算による緊急給付金制度のほか、国の低所得者向け就学支援制度など学生に対する総合的な支援策を踏まえた上で、他の感染症対策との緊急性の優先度から交付金の活用について判断することが必要と考えています。

市民クラブ  
もりやま よしはる  
森山 義治 議員



## 「公共交通（バスやタクシー）」について

**問**▶ 公共交通を取り巻く環境はモーターリゼーションの進化や人口減少と高齢化社会、都市一極集中や地方の過疎化が進展する中で、特に地方の生活路線維持は年々厳しさを増しており、このままでは普段の生活路線が一部無くなってしまふことが懸念されている。そうなれば困るのは、移動手段を持たない高齢者をはじめとする市民である。特にコロナ禍において路線バスの減便数や運休、また各社貸切バスやタクシーの稼働率と収支状況について尋ねたい。

**答**▶ バス事業者2社を合わせ2018年度延べ年間242,749便、2020年度は223,712便で、2020年度のコロナ禍の影響等による運休便数は14,485便であり、率にして約6.5%運休、利用者の推移は2018年度は延べ6,824千人、2020年度は3,921千人で約42.5%の減、また、貸切バスについては把握している限りのバス会社の平均で、2018年度の稼働率は37%、2020年度は約18%、また、8社あるタクシー事業者の中で把握している事業者の平均で、2018年度の稼働率は約69%、2020年度は約52%、収支状況はバス、タクシー会社ともに2018年度と比較し大幅な減収と伺っています。

**問**▶ 今後の計画と国の補助金を活用した助成について尋ねたい。

**答**▶ 公共交通活性化再生法に基づき別府市地域公共交通計画を策定中です。助成については緊急性や優先度から活用について判断してまいります。

**問**▶ 小型車両や連節バスの上下分離式（公有民営）について見解は。

**答**▶ 慎重に調査研究をしていきます。

公明党  
いち はら たか お  
市原 隆生 議員



## 「発達障害等に係る研修」について

**問**▶ 特別な支援を必要とする園児や、児童に対

して適切な支援を行うためには、専門的な知識や対応の仕方等を習得するための研修が必要だと思うが、放課後児童クラブについて実施状況を伺いたい。

**答**▶ 支援を行うためには、その園児・児童に合った適切で専門的な知識が必要であり、その習得に向けては実践的で多様な支援に携わった実績に基づく研修が必要だと考えています。別府市放課後児童クラブ連絡協議会では毎月1回、支援員部会研修会を実施し、また年1回は県の発達障がい者支援センターから講師を招き専門的な講習を行っています。さらに同協議会の発達研修会では月1回、発達障がい支援専門員の指導の下、適切な支援や相談について助言をいただきながら、個人個人の支援計画の実施や見直しを行っています。

発達障害とは、いわゆる障害ではなく強い個性であり、得意なことと不得意なことの差が激しいだけで、スポーツや芸術の分野で有名な方もいる。不得意な部分をフォローしながら得意な部分を見つけ、その力を引き出すことができれば、その分野で大きな成果を上げられる人材になると思う。決して簡単なことではないと思うが、ぜひとも高い目標をもって取り組んでいただきたい。

自民新公会

もり だいすけ  
森 大輔 議員



## 「コロナ禍の行財政運営」について

**問**▶ 別府市が設立した一般社団法人ビービズリンクは、ここ5年間で約10億円の税金を使い別府市の人口減少を食い止めて地域経済を元気にすることを目標に活動してきたはずだ。しかし、人口減少に歯止めはかかっておらず、市民所得は県内市町村の平均より低く、市税収入額は類似自治体と比較して少ないことが指摘されている。また、様々な市民、福祉サービスの見直しや縮小により多くの市民が生活の向上を実感できていないのが現実だが、別府市の地方創生はどこまで実現出来ているか。

**答**▶ 成果として現れにくいもの等、少なくありませんが、人材育成や起業家の育成、将来に向けた必要な事業等には積極的に取り組んでいかなければいけないと思います。

**問**▶ 設立当初のビービズリンクは、自立自走しながら別府の地方創生の実現を目指すと言

いながら、実際は5年経過しても実現出来ておらず、今も運営費、委託費そして負担金事業費のほとんどは別府市からの税金で担っている。その総額が約10億円になることはご案内の通りだ。また、別府市が100%出資して設立した経緯や、副市長がこの法人の理事長を兼任している事実を考えると、この法人は別府市からの税金に頼りながら、今後も市の意向を忖度する小会社として運営していくのではないか。

**答**▶ 新型コロナウイルスの影響によりこの2年間は自立自走を考える状況にありませんでしたが、ビービズリンクでないと別府の地方創生は推進できないと言われるよう事業を実施し、自立に向けた動きを元に戻していきたいと思えます。

**問**▶ 熱海市の盛り土災害を受けて、盛り土に対して心配する声を聞く。市内にも大小様々な盛り土や一時堆積地が存在しているが、今後市として規制のあり方をどのように考えるか。

**答**▶ 引き続き国及び県の動きを注視していきます。

市民クラブ

み え ただあき  
三重 忠昭 議員



## 「所有者不明土地の問題」について

**問**▶ 少子高齢化・人口減少社会の進展に伴って所有者不明の土地が今後増加していくことが予想される。不明土地は近隣住民の生活環境や公共事業、固定資産税にも影響を及ぼしていく。不明土地を増やさないためにどのように対応していくのか。

**答**▶ 「おくやみコーナー」の設置により、死亡が判明したご遺族の方に相続人の申告や国において所有者不明土地の解消にむけ罰則規定を設けた民法の内容をお知らせしています。

**問**▶ 住居表示について、別府市には大字住所と通称の2つの住所をもつ住居表示未実施地区がある。住所をわかりやすく一つにまとめるための未実施地区の今後の実施計画はどのようになっているか。

**答**▶ 協議を始めて実施に至るまで一地区で最短2年程かかります。一度に対象地区を実施することは困難なため年次計画も含めて自治委員の皆

様を中心に協議して、住民の皆様にも協力をお願いしていきます。

**問**▶ 別府市就学前の子どもに関する教育等協議会の報告書について、令和3年6月に協議会から報告書が出されたが、検討課題などの進捗状況はどのようになっているか。

**答**▶ 本年度中は、行政窓口の一本化を含めた組織体制の検討や、就学前教育・保育のあり方に関する基本方針・実施計画の策定に向けて協議しています。その際に保護者や幼児教育・保育施設の関係者からも意見を聞き、来年度は具体的な方針と計画を策定したいと考えています。

自民党議員団

しゅとう 首藤 だだし 正 議員



## 「財政、歴史と伝統、市制100周年」について

**問**▶ 財政の問題。年々増加する地方債（借金）について、令和6年には、400億円を超える。地方債のうち、臨時財政対策債（地方交付税の中の一部で市が交付税のある額を借入するが、償還については国が責任をもつ制度）が約50%を占めているが、国の借金が1,000兆円を超え、逼迫している中で国の動向対策、市の地方税の算定においてどのように検証しているのか。

**答**▶ 財政問題にいつも厳しい的確なご指摘をいただいています。大事な地方交付税のうち臨時財政対策債の参入額を確実に国が返済してくれているかが重要なことですので、データを算出しながらしっかりチェックをしていきます。

**問**▶ 歴史と伝統問題。別府市の歴史とともに歩んできた京都大学・九州大学の研究施設は市が土地の無償提供、補助金支給などで誘致し、別府市に大きく貢献してきたが、新しい時代を迎え今後の市との協働対応はどのようにしていくのか。

**答**▶ 京都大学・九州大学については、歴史的な経緯がありますので、それを踏まえて両大学とさらに緊密な関係を保ち、特に博物館的なものを造っていくなどしっかり取り組みます。

**問**▶ 市制100周年の問題。令和6年に市制100周年を迎えるが、別府市の歴史・伝統・文化・産業を守るための基礎となる別府市誌を市制100周年記念特別号として編纂できないか。以上

について市長、ご答弁をいただきたい。

**答**▶ 別府市誌は、2003年を最後に約20年近く編纂していません。市制100周年という世紀の大きな節目ですので、別府市誌の編纂を是非やりたいと考えております。そのための体制が重要ですので、具体的な検討を始めたいと思います。

自民党議員団

あべ いちろう 安部 一郎 議員



## 「エール券、温泉施設、スポーツ施設」について

**問**▶ エール券について

①地域経済の再生のために、他都市のように何年間は続けてほしい。②次回からは市民だけの対象にしてほしい。③シャワー効果があり消費額も大きい観光客に特化したものを作って、観光地競争の起爆剤にしてほしい。

**答**▶ 新型コロナウイルスの感染状況や地域経済の状況、中小事業者の経営環境等を踏まえ、それに対する国や県の動向を注視しつつ、市としてできる施策を考え判断し、適宜事業を講じてまいりたいと考えています。

**問**▶ 市営温泉・共同浴場の維持管理について（レジオネラ菌の発生について）

浴槽を中心に管理する指定管理業者に課したチェックシートや外のタンク井戸を管理する別府市のチェック体制に不備があると思うが、どのように改善し、実施していくのか。

**答**▶ 温泉課が担うチェックシートの内容の見直し、敷地内の泉源、温泉配管、貯湯タンク等の洗浄・消毒作業等や設備の不具合や老朽化の対策等、ソフト面・ハード面の両面で取り組んでまいりたいと考えています。

**問**▶ スポーツ施設について

モニタリングの結果について、その経過は。

**答**▶ これまでにサッカー、ラグビー、陸上、野球の競技団体の方々から直接ご意見を伺いました。いずれも施設整備などのハード面に関する要望であったり、運用などソフト面に関する要望や提案など様々なご意見を伺うことができました。今後はこれらのご意見を分析し、問題解決につなげていきたいと考えています。



公明党

あらかね たくお  
荒金 卓雄 議員



## 「成年後見支援センター」について

**問**▶ 成年後見支援制度の相談窓口はどこか。また相談件数と支援開始件数は。

**答**▶ 別府市が相談を受ける窓口として、社会福祉協議会に委託を行い昨年開設した「別府市成年後見支援センター」があります。開設後11カ月の相談件数は167件、支援につながったのは14件です。

**問**▶ 同センターの開設の経緯と新事務所に移転した理由は。

**答**▶ 同制度の利用状況の低さから、令和元年度より制度の周知、市民後見セミナーや市民後見人養成講座の開催などを行い、高齢者や障がい者を取り巻く関係機関等による地域連携ネットワークの構築に努めてきました。制度の利用促進を図る上での中核機関として、社会福祉協議会へ委託し、令和2年12月に同センターが開設となりました。その後、相談件数が増加したため、令和3年11月に隣接地に新事務所を設置しました。

**問**▶ 同制度を申立てする場合、どのような費用が必要になるのか。

**答**▶ 申立て費用は、約6千円～8千円程度。鑑定が必要な場合は、加えて3万円～10万円の鑑定費用が必要になります。そして、被後見人の所得に応じて後見人への報酬が発生します。

**問**▶ 費用や報酬の支払いが困難な場合、別府市の助成制度はあるのか。

**答**▶ 成年後見制度の利用が必要と認められるにもかかわらず、経済的に費用や報酬等の支払いが困難である場合は、別府市が補助できる制度があります。補助金交付申請書を提出し「別府市成年後見審判申立審査会」において交付決定の審査を行い決定します。

公明党

ほりもと ひろゆき  
堀本 博行 議員



## 「18歳以下の10万円相当の給付」について

**問**▶ 18歳以下の10万円相当の給付について、

制度の概要と別府市の対象者数、今後のスケジュールについて尋ねたい。また、残る5万円分のクーポンはどうなるのか。

**答**▶ 子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯への臨時特別給付金を行う予定でございます。まず先行給付金として、対象児童1人につき5万円を支給したいと考えています。対象者については、次の4つの区分のいずれかに当てはまる方が対象となります。まず1つ目の区分として、別府市から令和3年9月分児童手当を受給している方で、対象者数は、約6,300世帯、対象児童約10,520名でございます。次に2つ目の区分として、令和3年9月30日時点で、生年月日が平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれのいわゆる高校生の児童を養育する方、3つ目の区分として、所属庁から児童手当を受給している公務員の方、4つ目の区分として、令和3年10月1日から令和4年3月31日までに生まれたいわゆる新生児の児童を養育する方でございます。2つ目から4つ目の区分の対象者は、約3,000世帯、対象者数約5,000名でございます。スケジュールにつきましては、別府市から令和3年9月分児童手当を受給している方については、申請不要であり、令和3年12月27日の支給を予定しており、その他の対象者については申請が必要になります。また12月8日時点において、国は10万円のうち残る5万円については、令和4年春までに5万円相当のクーポンを支給することとしています。

来年は3回目のワクチン接種が始まるだけでなく、クーポンの印刷・発注・配布は市が背負うことになり、迅速な支給を考えるとクーポンではなく現金で配るべきだと思うが、検討してもらいたい。

自民党議員団

まつかわ みねお  
松川 峰生 議員



## 「老朽する水道管」について

**問**▶ 全国的に耐用年数を超えた水道管が問題になっており、令和3年10月3日和歌山市の紀ノ川に架かる水管橋の一部が腐食し崩れ落ちる事故が発生、この事故で約6万世帯が断水し仮復旧工事で解消されるまで一週間続き市民生活が混乱した。別府市内の水管橋は何か所あり、水管橋からの漏水があったのか、また原因は何か。

**答**▶ 別府市には水管橋が115箇所あり、大部分は河川等にかかる道路橋に沿って渡されています。和歌山市のように単独で渡された独立管形式の大きな管径の水管橋は2箇所あり、境川と亀川の新川にかかる橋です。10月に点検を行っており、状況としては、塗装面において多少の発錆等がみられましたが、大きな構造上の支障はありませんでした。直近3年間では平成30年度に朝見川の雲泉寺橋付近の400mmの水管橋にて一件あります。原因は、経年劣化による配管の接続部に小さな穴があいたことによるものです。

**問**▶ 全国的に水道管の年間更新率が低下しているが、別府市も耐震管への改修比率が下がっていると思う。その問題点と、今後の対応については如何か。

**答**▶ 法定耐用年数を超過した老朽管全てを更新するには多額の事業費を要しますが、コロナ禍の影響による水道料金収入の落ち込みなどにより、厳しい財政状況が続いており、その財源を捻出することが大きな課題となっています。今後も別府市水道事業基本計画のもとに配水管整備事業の中で、老朽化の著しい管や漏水多発地域を優先し耐震化を図りつつ更新を行ってまいります。

自民党議員団

あべ しんいち  
阿部 真一 議員



## 「子ども家庭総合支援拠点の事業」について

**問**▶ 児童福祉法の改正により努力義務となった子ども等に関する相談全般から専門的な相談対応、継続的なソーシャルワーク業務等の機能を担う拠点整備について、別府市では、令和2年度から業務の拡充を別府光の園に委託し「別府市子ども家庭総合支援拠点」を設置しているが、導入に至った経緯は。

**答**▶ 法的根拠に基づき業務拡充を支援対象児童等の相談指導に関する知見や経験を有しており、児童相談所等関係機関との連携及び支援体制を確保し夜間・緊急時の対応を適切に行うことができるという点から社会福祉法人別府光の園に委託したことで在宅支援が強化された子ども家庭総合支援拠点を設置できました。

**問**▶ 子ども家庭総合支援拠点の事業としては、主に子育てにかかる相談や、別府市要保護児

童対策地域協議会に関すること、家庭訪問などの対応、嘱託弁護士による法律相談、乳幼児健診未受診者への家庭訪問、児童虐待防止に関する普及啓発等を行っているが、令和2年度の事業実績と設置したことによる評価は。

**答**▶ 拠点で受けた令和2年度の相談件数は561件で内432件については継続支援をしています。支所である光の園の実績は、延べ115件の相談、その他、法律相談19件、家庭訪問90件、乳幼児健診未受診者への家庭訪問15件です。光の園に市の業務拡充を委託して支援拠点を設置したことにより、これまで対応が困難であった夜間、休日、年末年始の対応が強化され、24時間体制で支援を行えるようになり、在宅支援における相談体制、支援体制の強化ができました。

行財政改革クラブ

いずみ  
泉

たけひろ  
武弘 議員



## 「どうする 不登校・貧困家庭問題」

**問**▶ 文部科学省の発表では、2020年度全国の不登校児童生徒数は19万6,127人で前年より1万4,855人増え過去最多となった。県内も1,992人で149人増え過去最多となったが、市内の不登校児童生徒数は。

**答**▶ 令和2年度、小学校46人、中学校126人です。

**問**▶ 不登校児童生徒の居場所としてフリースクールは大きな役割を果たしているが、運営状況が厳しく行政の支援が必要では。

**答**▶ 不登校児童生徒支援連絡協議会を立ち上げ、支援を含め協議いたします。

**問**▶ 貧困は、お金が足りないだけを意味するのではなく、生活が苦しく経済的な困窮を要因とした衣食住の余裕のなさに加えて、親との買い物、塾通い、食卓を囲んでの食事等の経験のなさが貧困の連鎖に繋がっている。市内の生活困難世帯の調査はしているのか。

**答**▶ 調査はしておりません。

**問**▶ 大分県が実施した子供の生活実態調査によると、経済状況の問いに、大変苦しいが47.1%で厳しい生活環境が見て取れる。子供の情報一元化を図り、幼児から18歳まで子供を継続して見守らなければ、問題が顕在化してからでは対処療法となる。潜在中でも問題因子が見えた過程で対処しなければ貧困の連鎖を断ち切れないのではないか。



**答**▶ 子どもの将来をできる限り明るく照らしていくことが社会、そして行政の責任であると考えています。データに基づいた対策を行うことは重要ですので、今後データの一元化はしっかりやっていくべきと考えています。

日本共産党議員団

ひらの 平野 ふみかつ 文活 議員



## 「福祉の見直し等の結果」について

**問**▶ 平成30年度から介護保険料が値上げされた。被保険者の負担はどれだけ増えたか。

**答**▶ 値上げ前の平成29年度と比べると、約1億円増えています。

**問**▶ 介護保険会計に積み立てている基金残高は、値上げ前の平成29年度末には約6億6千万円だったが、その後の推移はどうか。

**答**▶ 平成30年度末は約9億2千万円、令和元年度末は同じく約9億2千万円、令和2年度末は約10億7千万円です。

**問**▶ 3年間で4億円も増えている。結果的には、値上げの必要はなかったのではないか。

**答**▶ 基金の必要性はご理解いただきたい。

**問**▶ 市営温泉の高齢者優待券、障害者対象の心身優待券は令和3年4月から廃止された。令和2年度の利用者数は、それぞれ何人か。

**答**▶ 高齢者優待券は8,042人に交付、利用者は延べ40万4,625人、心身優待券は940人に交付、利用者は延べ2万9,966人です。

**問**▶ 入浴料換算では、高齢者優待券で約3,692万円、心身優待券で約266万円、合計で約4,000万円がカットされた。廃止された90歳までの敬老祝金の人数と金額は。

**答**▶ 平成元年度は5,525人に1万円を支給したが、平成3年度からは廃止しました。

**問**▶ 水道料金福祉還付制度も令和3年度から廃止された。令和2年度の実績はどうか。

**答**▶ 還付金額は約3,200万円です。

介護保険料、優待入浴券、敬老祝い金、水道福祉還付金を合わせると、約2億円以上の負担増。しかも対象は高齢者や障害者。見直しの必要性は理解してほしい。

自民党議員団

ひなご あつこ 議員



## 「子育て支援のワンストップ化」について

**問**▶ 子どもの成長に応じて各種手続きが必要だが、子どもに関する相談体制はどうなっているか。

**答**▶ 妊娠期から子育て期にかけての、相談、支援体制を強化するため、令和2年4月に子育て世代包括支援センター、並びに子ども家庭総合支援センター拠点を設置しました。子どもやその家庭が抱える不安や困りごとについて寄り添い、関係機関と連携して情報提供や切れ目のない支援を行うよう努めております。

**問**▶ 別府市では子育てに関する相談や、手続き等がワンストップ化(窓口一本化)できないか。

**答**▶ 保護者にとって子育てに関わるスムーズな手続きが出来るとともに、安心感を得ることが出来るという点で、目指すべきことであると承知しております。利便性を含めどのような形が望ましいのか、関係課と今後調査検討していくことが必要と考えています。

**問**▶ 市長のご見解は。

**答**▶ 子どもに関わる行政手続きの一元化や窓口一元化に向けた取り組みは必要と考えています。行政手続きにおいて、オンラインとオフラインの二つに分けて考えますと、オンラインでデジタル化し、オフラインで顔の見える関係性を築いて温かみのある子育て環境を整えていき、よいバランスをとって、皆さまのご期待に応えられる行政、また行政窓口を目指していきたいと思っております。



# 別府溝部学園短期大学と 連携協定を締結しました

## 別府市議会・別府溝部学園短期大学 連携協定 締結式

令和3年11月5日



別府市議会議長 松川 章三  
別府溝部学園短期大学理事長・学長 溝部 仁

当市議会は、去る11月5日に別府溝部学園短期大学と連携協定を締結しました。

本市の「食」の安全性や食文化の向上と食育・地産地消の推進に繋げるため、農林水産業の持続的な発展及び市民の健康的で豊かな生活の実現に向け、大学の教員や食物栄養学科をはじめとする学生の知見・意見を活かしつつ条例の制定又は政策提言が実現できるよう、本市議会政策研究会において、調査・研究を進めています。

## //////// 請願・陳情 //////////

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。また、議会事務局までお問合せください。

なお、令和4年第1回定例会の請願の受付期限は2月16日（水）17時までです。

## 令和4年第1回 市議会定例会会期日程(予定)

- 2月25日 議案上程
- 3月 2日 議案質疑・委員会付託
- 3日 常任委員会審査
- 8日 常任委員会委員長報告、討論、表決
- 9～11日 予算決算特別委員会
- 14～17日 一般質問
- 22日 予算決算特別委員会委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。



本会議を  
中継しています

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

**放送日時**  
本会議開催日（午前10時から）

**放送内容**  
議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

**放送メディア**  
ケーブルテレビでの中継  
CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

**インターネットでの中継**  
別府市議会ホームページ  
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。（また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。）

※議会議中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の二ニュースが発表され2年が経ちました。当時、まさかこんなにも長引くとは誰も想像していません。これだけではないでしょうか。別府市でも3回目の新型コロナウイルスワクチン接種の方針、体制も発表され、ご希望する方々への速やかな接種を期待します。

広報広聴委員会では、昨年度に続き「コロナ禍での「市民との対話集会」開催を断念いたしました。来年度の再開に向け、取り組んでまいります。

また、別府市議会のホームページに「ご意見・ご要望」の項目を新たに設けました。市民の皆さまのご意見を反映させ、健全な議会運営に努めてまいります。

長きに渡るマスク生活にも慣れてきたような、やはり不自由なような…。次の波への不安、先の見通しがつかず辛い日々ではございますが、健やかに過ごさずにはなれず、心よりお祈り致します。

別府市議会広報広聴委員会

委員 日名子 敦子